

給食だより 1月

令和7年度
氷見市立十三中学校



1月24日～30日は全国学校給食週間

学校給食は、明治22年(1889年)、山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で、生活が苦しい家庭の子供たちへ無料で昼食を提供したことが始まりといわれています。

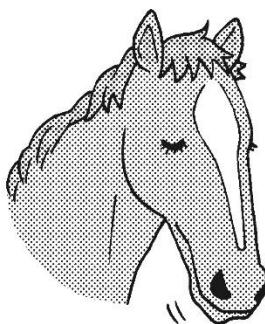
戦争中は食料不足等により一時中断されましたが、昭和21年12月24日に児童の栄養改善のために再開されました。このことを記念し、冬休みと重ならないように、1か月後の1月24日からの一週間を「全国学校給食週間」と定めています。



今年の氷見市の給食週間のテーマは「未来に向かって～プレイバック昭和100年～」です。1月26日(月)～30日(金)は特別献立を予定しています。2026年は、昭和元年(1926年)から起算して満100年ということで、昭和の給食をみんなで味わいましょう。

今年は午年 よくかんで食べよう！

馬は干し草を食べるのに、人間の何倍もたくさんかんでいます。わたしたちも見習って、食事の時は一口30回を目安に、よくかみましょう。



エナジードリンクに注意

勉強時や部活動の後に、カフェインを多く含むエナジードリンクを飲む人がいます。カフェインのとり過ぎで心臓がドキドキしたり、頭痛がしたり、疲れやすくなったり、眠れなくなったりすることがあります。特に小中学生は影響を受けやすいので、避けるようにしましょう。



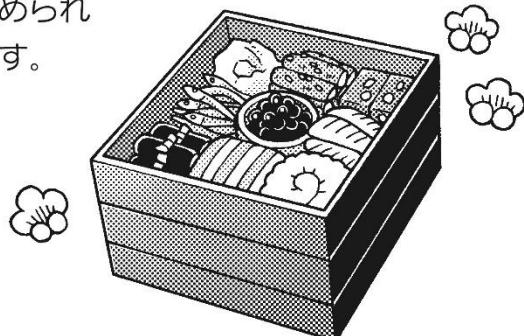
年の初めの行事食

正月

1月1日

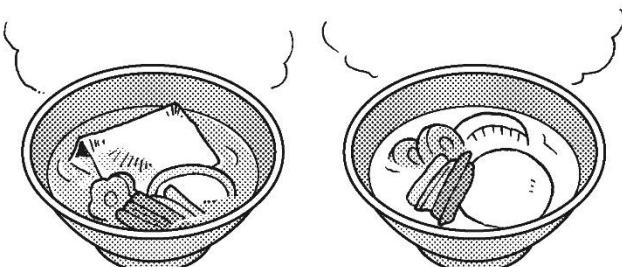
おせち料理

おせち料理は、もともと季節の変わり目「節句」に年神様に供えるものでしたが、のちに正月料理だけを指すようになりました。田づくり（五穀豊穣）、黒豆（まめに暮らせる）などの願いが込められています。



雑煮

一般的に東日本は角もち、西日本は丸もちを入れるといわれますが、地域や家庭によっても、材料やもちの形、だしや調味料が異なります。



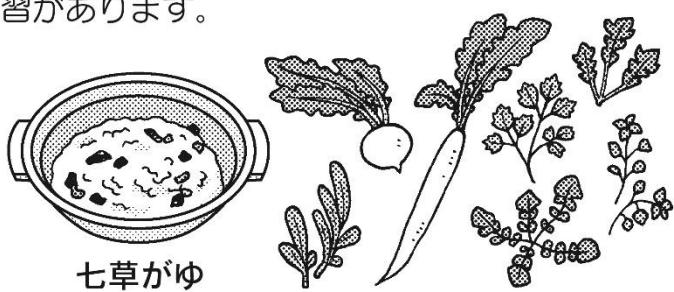
関東風

関西風

人日の節句

1月7日

この日の朝に、「せり、なづな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ」の入った七草がゆを食べ、無病息災を祈ります。古来から、早春の野山で若菜を摘んで食べる風習があります。

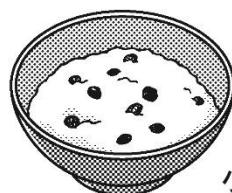


小正月

1月15日

この日は、もちを小さく丸めて木の枝に刺した「もち花」や「まゆ玉」を飾ります。

また、左義長（どんど焼き）の火で、門松やしめ縄などの正月飾りを燃やします。この火でもちを焼いたり、小豆がゆを食べたりします。



小豆がゆ

クイズ 鏡ものは、なぜ「鏡」なの？

- ①もちの表面が鏡のようにつるつるだから
- ②古代の銅鏡に形が似ているから

